



北河内4市リサイクルプラザ TVOC 高い数値つづく

施設操業やめよ 周辺住民のこえ強まる

二月一日から操業をはじめた北河内四市リサイクルプラザ(廃プラ圧縮梱包施設)では、排出チャンバー室のTVOC(総揮発性有機化合物)の測定値を電光掲示板で公表していますが、高い数値が続いています。例えば二月二十二日の三十分ごとのTVOCの測定値は、施設組合が示す参考値一四〇〇μg/l立法計を大きく超え、二二五〇から二〇〇〇μg/lを示しています。

この施設の安全性を調査するために設置された専門委員会では、活性炭を使用すれば九十%以上のTVOCが除去され、「周辺環境にほとんど影響をあたえない」との判断が多意見とされましたが、高濃度のTVOC

が施設から発生しているという、現在の事態について、十分な検証がもたれられます。

周辺住民からは、施設の稼働の中止をもとめる声が強まっています。

VOC TVOCとは

常温常圧で空気中に容易に揮発する物質の総称で、主に人工合成されたものを指す。非メタン炭化水素とほぼ同義である。

大気中に放出されると、太陽光による光化学反応によって窒素酸化物などと化学反応を起こし、光化学オキシダントやSPM(浮遊粒子状物質)の発生に関与していると考えられている。

VOC(揮発性有機化合物)とTVOC(総揮発性有機化合物)との関係は、TVOCは個々のVOCの合計を指し、TVOCはVOCの総和である。

土・日曜議会 傍聴におこし下さい

3月8日・9日とも午前10時より、日本共産党の代表質問は9日です

視界

馬場市長の市政運営方針が、針表明が、本会議であ

りました。市長から「変革から躍進へ」「改革」「協働」への実行力と「可能性への挑戦」などの言葉が続きました。しかし、いつも気になるのは、市民のくらしの実態について、ふれていないことです。社会保障や雇用の改善のもと、寝屋川市民のくらしの困難がつづいています。市政をすすめる出発点として、市長の考えを明らかにすべきでしょう。

▼市長は「魅力と活力を備えた都市力の向上」と述べ、市駅東地区再開発事業など、大型開発優先の意向を示しました。しかし、市長も認めている人口減少時代に、人口増加を前提にする従来型の再開発事業などがふさわしいのかが、あらためて問われます。▼市長は「市民との揺るぎない信頼関係の確立」「経営感覚とコスト意識の徹底」が不可欠と述べました。しかしこの間、廃プラ問題をはじめ多くの問題で市民の意見を無視し、信頼関係をくずしてきたことへの反省はありません。▼また行政の効率化は重要ですが利潤追求を目的とする民間企業と同じように行政をすすめることは、正しくありません。大型開発優先から市民のくらし優先に切りかえること。市民の意見を聞く、あたり前の市政がもたられます。



発行
日本共産党
寝屋川市議員団
824-1181 (内線2399)
FAX No. 824-7760
E-mail: jcpnc@cc-net.or.jp
No. 2114

太田 徹
高槻2-49-2
TEL 826-1664

田中 久子
国松町10-36
TEL 823-1714

寺本 とも子
豊田町58-1-105
TEL 829-9424

中林 かずえ
宝町4-33
TEL 839-2289

中谷 光夫
高宮155-8
TEL 823-5947

松尾 信次
下木田町12-6
TEL 821-7427